

公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム

I. 目的:

一般目標:

公衆衛生活動・研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標:以下の9項目が理解できる。

1. 活動・研究計画書の構成を理解し、自身で作成できる
活動・研究計画の概要、活動・研究目的、対象者選択基準、
活動・研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の手順、倫理的
事項、活動・研究中止基準など、活動・研究組織
2. 活動・研究計画書の作成に必要な疫学原理を理解できる
疫学研究の考え方、研究デザイン、倫理
3. 活動・研究実施時(後)に起こる問題・限界点を認識できる
バイアス・交絡、一般化可能性
4. 生物統計的な考え方を学習する
統計的推測、推定、95%信頼区間、検定の原理、標本数の設定
5. 基本的な検定手法を学習する
t検定、カイ二乗検定、交絡調整
6. 交絡調整に必要な統計手法の理解できる
層別化、統計モデルを利用した調整
7. SPSSを利用した検定・推定が実際に実行可能である
8. 保健医療分野における論文構成・表現法を学習する
9. 論文作成で起こしがちな誤りについて理解する。
10. 論文で使用する図表を正しく作成できる。

II. 受講対象者:

公衆衛生活動の立案から評価までを行いたい人、および日本公衆衛生雑誌などに論文投稿しようと思
っている人

III. 受講者の必要条件:

疫学(公衆衛生学)を学んだ経験がある。Windowsが基本的に使用できる。Excelを使うことができる(数
値入力、Excel関数)。

IV. 人数:40名程度

V. 場所:埼玉県立大学

VI. 日時:8月28日(木)~8月30日(土)

VII. 研修日程(案)

8月28日(木)

午後	講義・グループ分け	
	13:00-15:45	研修プログラムの説明、自己紹介 講義1:疫学総論(三浦宣彦) 講義2:社会調査法(大井田隆) 講義3:日本公衆衛生雑誌の現状(甲斐一郎)
	15:45-17:30	講義4:計画書の企画・論文作成に必要な生物統計手法(村上義孝)
	17:30-18:30	グループ分けの発表、課題発表(課題は昨年のも)

- 課題1：喫煙介入の評価(介入評価)
課題2：コレステロール低下の健康教室(介入評価)
課題3：高血圧者のプロフィール(断面研究)
課題4：ADL, QOL 調査 (断面研究)

8月29日(金)

- 午前 ワークショップ
9:00-10:30 ワークショップ (課題に基づいた研究計画の策定)
10:45-12:00 ワークショップ (課題に基づいた研究計画の策定)
- 午後 発表・SPSS 実習
13:00-14:30 グループ発表・講評
15:00-16:30 SPSS による統計解析実習 (宮松直美)
(カイ二乗検定、t 検定、推定)
17:00-18:30 カウンセリング
19:00 終了

8月30日(土)

- 午前 論文の書き方
9:00-10:30 講義5:論文作成法(論理的な表現法とは、投稿のマナー) (村上義孝)
10:45-11:50 仮想例による悪い論文の改善法(演習) (村上義孝)
12:00 解散

VIII. 参加講師(予定)

大井田隆、三浦宣彦、甲斐一郎、村上義孝、宮松直美、早川岳人、盛永美保、荻田美穂子、
新保真理、王城哲雄